

天草経済開発同友会

40
年のあゆみ

天草経済開発同友会

40
年のあゆみ

発刊によせて

天草経済開発同友会 会長 中川竹治



平成27年1月、天草経済開発同友会は創立40周年を迎えることができました。これは偏に、行政をはじめとする天草の皆様、諸先輩、各会員の皆様方のご支援とご協力の賜物であり、衷心より厚く御礼申し上げます。

昭和49年11月に、企業内外の情報交換と自己研修を目的として発足された、天草経営研究会を発展解消し、企業経営に携わる者が有志の方々と共に地域経済の発展と企業の繁栄に寄与せんことを目的として、馬場利雄初代会長のもと68名のメンバーで、天草経済同友会が設立され、翌50年1月26日創立大会が本渡市民センターで行われました。その後40年間ふるさと天草の発展のために、様々な課題に積極的に取り組んでまいりました。

賛成反対の声渦巻く中、昭和56年7月には、「荅北火力発電所に寄せる期待」と提言書を発表し、建設推進の後押しをしました。

60年4月には、天草の中学校を卒業する生徒の17%（当時）が島外の高校に進学するという状況のなかに、10余の県立高校を有する天草からの流出

は、保護者の経済的負担はもとより、天草の生徒は極めて優れた能力を有しながら、勉学の機会、切磋琢磨する場が少ないことなど考慮し、優秀な故郷を思う天草の高校出身の人材を育てることを目的として、高校生を対象にした進学塾「青藍塾」を開塾しました。着実に成果を上げていきましたが、残念ながら諸般の事情により閉塾しました。

同友会の歩みの中で最も時間とエネルギーを割いたのが、平成2年春夏秋冬1年にわたり4回開催した「天草を考え天草を創る地域シンポジウム」です。当時は天草海洋リゾート構想・天草空港建設という天草にとって重要なテーマを抱えていました。天草の未来を考え創るシンポジウムは立場こそ異なっていますが、天草をこよなく愛する多くの人に支えられて開催され、多くの成果と具体的な取り組みが「天草宣言」として採択されました。このシンポジウムでは筑波大学の宮尾尊弘先生に総合的にご指導いただきました。また宮尾先生を中心とした東京のハートストック研究会のメンバーをはじめ大勢の天草ファンの方々との出会いがあり

交流が生まれました。このシンポジウムを契機に、天草空港の開港へ向けての流れを見出すことができました。現在では天草空港は天草にはなくてはならないものになりました。

天草の現況は1955年（昭和30年）には24万の人々が暮らしていましたが、今年（2015年）3月現在118,396人の人が天草で暮らしています。この数は今から21年前（1994年）120,000人余とほぼ同じです。日本創成会議の人口問題検討分科会によると、現状を傍観し、何も対策を講じなかつた場合の天草の将来予測人口は2040年には65,475人との試算がなされました。

少子・高齢化、さらには人口減少（特に自然減が課題）とこれまで経験したことのない、社会・経済の大きな過渡期にさしかかっています。誰も足を踏み入れたことのない未踏の地をめざし、私たちは自らの手で切り拓いていかなければなりません。このような時代だからこそ天草経済開発同友会の活動はますます重要になってきます。皆様とともに、これまでの延長線上では

なく発想を変えて英知を結集し、行動を起こし、行政と連携を深めながら、悲観的な予測を覆すような天草を創生していかなければなりません。40年のあゆみを発刊するにあたり、先輩たちの40年の足跡を顧み、数多くの貴重な経験を学びとり、あたらしい時代にむけて、組織を強化させ、創造的により一層発展するための一助となることを念じまして、発刊のご挨拶といたします。

40周年記念講演

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部
事務局 地方創生総括官

山崎史郎氏



記念講演会には350名余りが出席 用意した席はいっぱいとなった（ホテルアレグリアガーデンズ天草）



記念講演会のために作成されたオリジナルの資料が出席者に配布。

- ①天草特別バージョン冊子・28頁
- ②創生本部の戦略冊子・104頁
- ③内閣官房事務局リーフレット



講師の山崎史郎氏
プロフィール

昭和29年（1954）生まれ、山口県出身。
昭和53年（1978）厚生省入省。
内閣府政策統括官（経済財政運営担当）、内閣総理大臣秘書官（管内閣）、厚生労働省社会・援護局長、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）を経て消費者庁次長。
平成26年（2014）9月より、内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局長代理に就任。
平成27年（2015）1月より、内閣官房「地方創生総括官」として、地方創生に関しての取りまとめに奔走しております。

もくじ

■ 発行によせて	2
■ 40周年記念講演	3
■ もくじ	4
■ 歴代会長	5
■ 天草経済開発同友会のあゆみ	6
■ 天草経済開発同友会の主な取組み	7
● 火電建設	8
● 天草進学塾青藍塾	10
● 天草を考え天草を創る地域シンポジウム	12
● 天草空港建設	22
● 天草藻類バイオマス事業	23
■ 天草経済開発同友会 機関紙「正鶴」	26
■ 会合の記録（総会資料 事業報告より）	27
■ スナップ写真	46
■ 会員名簿・歴代事務局員	47
	49

歴代会長



第3代
昭和54～昭和58年
永芳 黎一



第2代
昭和51～昭和53年
吉永 栄



初代
昭和49～昭和50年
馬場 利雄



第6代
平成13～平成16年
板垣 嘉章



第5代
昭和64～平成12年
吉永 征輝



第4代
昭和59～昭和63年
三角 商治



第7代
平成17年～
中川 竹治

天草経済開発同友会のあゆみ

- 昭和49年11月 ●天草経営研究会を発展解消し天草経済同友会を設立
- 昭和50年1月 ●天草経済同友会創立大会（26日 本渡市民センター）
 - 〃 3月 ●天草広域市町村圏道路基本計画提言（同友会地域開発委員会）
 - 昭和56年7月 ●苓北発電所による期待と提言書 発表
 - 昭和57年7月 ●地域開発とエネルギー小冊子 作成
 - 昭和60年4月 ●天草進学塾青藍塾 開塾（塾長 江崎虎六氏 同友会教育問題特別委員会・吉永征輝委員長）
 - 〃 12月 ●天草空港誘致の活動（同友会代表幹事・熊本エア・コミュニティー研究会天草支部長三角商治）
- 平成元年 ●天草地域航空振興協議会に参画
 - 〃 ●天草海洋リゾート基地建設構想推進協議会に参画
- 平成2年4月 ●天草を考え天草を創る地域シンポジウムPART I
 - 〃 6月 ● PART II
 - 〃 9月 ● PART III
 - 〃 12月 ● PART IV
- 平成5年9月 ●天草空港に関する要望書を知事に提出
- 平成7年5月 ●天草経済開発同友会に名称変更
- 平成10年 ●天草空港ターミナルビル検討委員会参画（委員長 吉永征輝会長）
- 平成14年4月 ●天草市合併協議会に参画（板垣嘉章会長）
- 平成22年4月 ●みなとまちづくりプロジェクトチームで本渡みなとまちづくりを検討（〜平成23年3月）
- 平成23年8月 ●天草経済開発同友会機関紙「正鶴」創刊号 発行
- 平成24年1月 ●天草藻類バイオマス事業の取り組み
- 平成27年3月 ●天草経済開発同友会 創立40周年記念講演会
 - 講師 内閣内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官官房 山崎史郎様
 - 演題 「人口減少克服・地方創生に向けて」（20日 ホテルアレグリアガーデンズ天草）



創立大会でステージに勢揃いした会員のみなさん